

検査結果報告書

No. gF2000150-001

1/2

サイブ 株式会社 様

報告日 2020年7月11日

株式会社 東洋環境分析センター
福岡県福岡市博多区井相田三丁目5番10号
Tel 092 - 588 - 7750 Fax 092 - 588 - 7751

受付日 : 2020年6月5日

試料名 : オキシデン溶解液

試験区の種類 : ①蒸留水 (対照)
②オキシデン溶解液

試験菌の種類 : ・ Legionella pneumophila レジオネラ属菌 (環境分離株)
・ Escherichia coli 大腸菌 (NBRC3972)
・ Staphylococcus aureus 黄色ブドウ球菌 (NBRC13276)

試験方法 : (1) 試験準備

オキシデン (二酸化塩素発生錠剤) を10Lの蒸留水に溶解する。
オキシデン溶解液を残留塩素濃度2ppm付近になるように希釈し、
これを試料原液とする。

本試験では溶解液を30倍希釈し残留塩素濃度1.57ppmとした。

試験区①～②は試料原液または蒸留水19.8mlに各試験菌液0.2mlを接種する。

各試験区の菌液濃度は $10^4 \sim 10^5$ CFU/mlとする。

(2) 試験方法

各種試料液について常温保管し各測定ポイントで菌数を測定する。

測定ポイント : 0秒 (対照のみ) 、15秒、30秒

菌数測定方法 : レジオネラ属菌はGVPC培地にて $36 \pm 1^\circ\text{C}$ 7日間培養、
その他の菌はSCDLP培地にて $35 \pm 1^\circ\text{C}$ 48時間培養し発育
した菌数を測定する。

試験結果：表1～表3に示す。

表1 Legionella pneumophila (CFU/ml)

	対照	オキシデン溶解液
0秒	1.8×10^5	—
15秒	1.9×10^5	陰性
30秒	1.7×10^5	陰性

表2 Escherichia coli (CFU/ml)

	対照	オキシデン溶解液
0秒	7.9×10^4	—
15秒	7.8×10^4	陰性
30秒	8.8×10^4	陰性

表3 Staphylococcus aureus (CFU/ml)

	対照	オキシデン溶解液
0秒	2.5×10^4	—
15秒	2.6×10^4	陰性
30秒	2.2×10^4	陰性

— 以上 —